



つよい子

余市町立大川小学校 学校だより

第7号

令和8年8月28日発行

【令和8年度重点目標】・自分の思いを語り、相手の考えを認め、自己調整しながら主体的に学ぶ子どもの育成
・『心・環境・関係』を整え、自ら考えて行動する子どもの育成

命を守る行動

～ 「自分事」として捉える防災 ～

校長 大山 敏広

◆久しぶりに登校する子どもたちは、なんだかひと回り大きくなったような印象を受けました。夏の思い出話が口から溢れそうでもあり、夏休みが終わってしまった悲しみをぐっところえているようでもあり…。何より大きな事故や怪我の報告もなく、2学期のスタートを切ることができたことを嬉しく思います。

◆2学期の始業式には、子どもたちへ3つのことを伝えました。

1. 夏休みが終わったので、生活のリズムが変化しますね。生活リズムが大きく変わると不安や悩み、体調不良等が出てくることがあります。遠慮することなく、誰かに話しするようにしましょう。心配事を相談することは決して恥ずかしいことではありません。
2. 2学期は、半袖で始まって、ジャンパーで終わる長い学期です。「こんなことができるようになりたいな。」「こんな人になりたいな。」…自分の目指すイメージを持ちましょう。挑戦する気持ちと毎日の小さな積み重ねを大切にしてほしいと思います。
3. 環境や関係を整えるために、『ちょっとしたひと言』を大切にしましょう。「大丈夫?」、「ありがとう」、「助かったよ」、「すごいね」、「ごめんね」、「おつかれさま」…等々。短いこれらの言葉には周りの空気を明るく、和やかする力があります。生活する場所が温かな空気に包まれると安心して毎日を過ごすことができますね。

◆さて、この夏休み中には、国内各地で大きな地震や局地的な集中豪雨による被害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、災害はいつどこで起きてもおかしくないのだと、改めて実感させられます。

◆6月に実施した本校の修学旅行。函館のホテルで朝食をとっていると「緊急地震速報」が鳴り響きました。すると6年生の子どもたちは、教職員の指示を待つことなく、静かに、そして速やかに机の下に入り、身を守る行動をとりました。見事でした。震度4の揺れが発生すると、一般宿泊者の方々も、子どもたちの姿にならって机の下に入る様子が見られました。これまでの学習を生かしたまさに「自ら考えて行動する姿」でした。



◆9月1日は「防災の日」です。これに合わせ本校では、9月9日（水）に初の取組となる『1日防災学校』を実施します。「自分の命を守る・災害に備える」ことをテーマに、余市町役場危機管理課の方々を講師としてお迎えし、児童の発達段階に応じた防災学習や実践的な体験活動（2～3校時）を行い、その後、避難訓練（4校時）を実施します。6年生が修学旅行で見せてくれたように、いざという時に状況を速やかに理解し、正しく判断して命を守る…「自分事」としての防災意識をこれまで以上に高めていきたいと考えております。

◆9月も子どもたちが安心して学び、力を発揮できるよう努めます。引き続きも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。